

東地申 第42号  
2月13日 開催

## 「平成31年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ【上野車掌区】

1. 2日勤減となった根拠を明らかにし、安全・健康・ゆとりの観点から現行以上の行路数にすること。

(会社回答) 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

### 主な議論

(組合) 2日勤減となった具体的な根拠を明らかにすること。

(会社) 乗務員勤務制度に則り作成し、乗務の充実を図った。制度に則り行路作成していくことに変わりはない。

(組合) 業務量が増加することにより、安全・健康に影響を及ぼすと認識している。会社の認識を示すこと。

(会社) 安全・健康を害するとは考えていない。制度に則ることにより、守られていると認識している。

### 認識合わず、今後検証していくことを通告!

2. 特急ときわの全列車に改札行路を設定すること。

(会社回答) 現時点において、一人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。

### 主な議論

(組合) 一人乗務によって未巡回が発生していることから、全列車に改札担当を乗務させること。

(会社) 状況により未巡回も発生し得るが、車内調査の結果、巡回できていると認識している。

(組合) 常に時間に追われていて、赤ランプでも声を掛けられないこともある。お客さまにも負担を掛けている。

(会社) 意見として受けとめるが、総体として対応できていると認識している。

### 未巡回は発生している! 正しく把握していくこと!

3. 教育及び車内秩序維持の観点から、普通列車の改札乗務を便乗としないこと。

(会社回答) 車内での乗車券類の発売実績等を勘案し、見直したものである。

### 主な議論

(組合) 車内での発売実績以外の根拠を示すこと。

(会社) 発売実績から教育に結びつかないことと、特に問題が発生していないことである。

(組合) 発売することだけが目的ではない。車内を巡回し、慣れることも必要だ。

(会社) 普通列車の乗務体制として、必要ないと判断した。

### 車内改札の目的は発売だけではない! 教育の場を奪っている!

4. 短時間行路が同じ時間帯に設定されていることから、利用者が選択できるよう時間帯を分けて設定すること。

(会社回答) 短時間行路については、箇所の実態に応じて設定している。

### 主な議論

(組合) 同じ時間帯では選択の意味を成さない。どのような想定で設定したのか明らかにすること。

(会社) 時間帯については調整の余地があると認識している。現状では育児・介護A適用者がいないことから、乗務する可能性としては指導担当・当務主務・支社企画部門である。

(組合) 本線乗務員が乗務することはあるのか。

(会社) 育児・介護A適用者が選択できる。選択しない場合は指導担当、指導担当が乗務できなければ本線予備が乗務することとなるが、現在調整中である。

### 職場の実態に合わせ、柔軟に運用すること!

## 働きがいの実感できるダイヤ改正を職場からのたたかいでつくり出そう!